

情報公開用文書

2024年9月9日作成

研究課題名	骨粗鬆症およびサルコペニアに対する新規バイオマーカーの有用性を検討する多機関共同観察研究
研究の対象	2016年4月～2028年3月の間に、横浜市立大学附属病院で骨密度検査を実施され、かつ診療目的で採血が行われた患者さんのうち、採血時の年齢が18歳以上の方を対象とします。
バイオバンクから提供する検体	疾患血清 85人 検体採取日 2023年8月22日～2024年9月10日
研究目的・方法	目的：骨粗鬆症、脆弱骨折の有無と骨密度検査の結果によって診断されますが、全ての医療機関で実施できるとは限らず、診断される機会を喪失しています可能性もあります。代わりに、血液検査によって診断が可能になれば、より簡便に診断が可能となり、かつ汎用性が高くなります。これまでの研究から、血液中に骨粗鬆症に関連する可能性のあるバイオマーカー候補を選定しています。本研究の目的は、その選定されたバイオマーカー候補の精度を確認し、既存の診断法よりも簡便に行うことのできる新規マーカーを確立することです。方法：診療目的で採取された血液の残余血清を用いて、これまでの研究から選定された骨粗鬆症に関連する可能性のあるバイオマーカー候補を1種類測定します。また、診療録から情報を収集して、バイオマーカーとの関連について検討します。いずれも通常の診療で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	2023年05月12日～2030年03月31日
研究に用いる試料・情報の種類	試料：診療で採血された際の残余検体 情報：診療録から以下の情報を収集します。 背景情報(年齢、性別、既往歴等)、骨粗鬆症、サルコペニアの重症度、血液検査の結果(生化学的検査、骨代謝マーカー)、画像検査(X線、CT)、骨密度検査の結果、骨粗鬆症治療薬の投与状況
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取年月日
この研究についての問い合わせおよびこの研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 電話：045-787-2800 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp	